京城新報

●農民救濟の二策（一）

竹越與三郎

一國の政治は、此を國政と民政とに分けて見ることが出來る、國政は國の存在を維持する爲めに圖り、民政は人民の幸福の爲めに圖る。元來此の二者は政治上相一致しなければならぬ筈であるが、中々そうは行かぬで、國權擴張すれば民權止まらざるを得ず、地方の民を圖らんとすれば、國權茲に縮まらざるを得ない、と云ふ風で、何れの國へ往つても國利と民福とが常に相衝突するを見受ける。

例へば我國でも、日清戰爭前は一年の歳入八千萬圓其中より僅に五百萬圓を減す減されぬで、屢々政府と議會と衝突したものである、然るに日清戰爭の結果として此の八千萬圓が二億五千萬圓となり、次いで日露戰爭の結果六億圓（今では五億圓餘）となつた、此の急激なる國費の增加も畢竟は止むを得ざるが爲めに止むを得ざる事を爲して來た結果で、今や我國の國防は充分であるが、積極政策は今後鐵道の延長を行ふの外、國家の存亡に關する疑あるものは無くなつた、故にこれからは轉じて民政を行はなければならぬ、內容の充實に盡力せなければならぬ、如何にして安價なる食物を供給するか、如何にして生活を安くするかの問題を解決せなければならぬ、歐羅巴には從來此政策は常に政府者の手に依つて行はれたが、我國には殆んど民政なるものは無いと云ふても宜しい。

民政を怠つて居る證據には、經濟上の『システム』が立て居らぬそれは靴を一足買て見ても判る、東京で十一二圓する靴よりも良いものが倫敦で矢張十一二圓で買へる、倫敦の磅と日本の圓とは四圓と一圓に匹敵するから、靴の直段は却つて東京が高い、牛肉牛乳皆東京の方が高い、殊に家賃の高いには驚く、無論倫敦の中心と東京の中心日本橋とでは倫敦が高いが、倫敦より十哩離つてテームス河沿岸地方を比較すると、先づ倫敦に於て一坪二圓位の所が東京では六七圓に相當する。又米國で三千圓の建築が日本では什麼しても五千圓かゝる、何となれば、米國では『ナンバー、ワン』の家ならば何尺に何尺と寸法が定まつて居るから、山から木出しをするにも悉く寸法を合して切出すことが出來る、何處の材木屋に往ても出來合して居るから、それを買て組合せれば善い、然るに日本では山から切出した物を又改めて寸法を合すと云ふ風に幾重にも無用の手數がかゝるから、勢ひ高い建築となるのである。つまり物價の高いのは增稅の爲めであると云ふけれども、其の影響恐らくは三分の一で、他の三分の二は經濟上の『システム』が無いからであらうと思ふ

●平壤の製造工業

平壤府の製造工業界は猶ほ草創の時代にして其の事業は四五年前又は此の年餘に起りたるもの〻みなれば其の將來に於ける發展は未だ俄かに豫想し得べからざるも現在に於ては遺憾ながら何甚だ不振なり抑も同平壤市は西朝鮮に於る產業の中心地にして人口も年々增加し諸種の事業勃興と共に製造工業の如きは長大足の進步發達をなさゞるに實は全く之れに反し大製造業の起らざるは不審の現象と云ふべし蓋し惟ふに其の原因は來往者の多くが小資本なると共に企業に對する有力なる資本家の皆無なるが爲めと又一方には他に物資の供給を受けんか鐵道運賃の高率及び關稅等の關係もありて意の如くならざるが爲ならんか然しながら小規模にもせよ目下同地に於ける各製造業は概して個人經營の元に着々その歩を進め且つ相當の信用もあり基礎も比較的鞏固なれば漸次是れが發達を見るに至るべしと云ふ

外電一束

▲米國● 上院大統領の米露條約廢棄を是認し下院亦惡意なき上院決議を採る
▲蘭國● 荷物運搬人船夫等罷業騷動を爲し三百名の兵士秩序回復の爲出動す
▲露兵● 去木曜日に波斯の首都テヘランに向けカズヴヰンを出發したりと云
▲墺帝● フランツヨセフ陛下激烈作の加答兒に罹られ痛く疲勞せらるゝと云ふ
▲首府● 拉薩を始め西藏各地の支那人反亂を起し國庫掠奪し官吏を幽閉すと
▲議計● 豫算發表せられ獨逸海陸軍擴張費として巨額の支出をなす決心を示
▲特別● 覺書を送り露亦米に條約破棄を遞へ米政府若に新條約締結を提議す
▲露土● 國境に於て露軍行動を開始す諾しダーダネルス海峡問題に關聯すと

梁川庄八

小金井蘆洲演

第六十五回

大勢「泣かうが笑はうが、如何助けを乞はうが、俺が親の罪は子に酬ふぞ、俺を瀧壺に掛けて生命を絶たなければ俺們の面目が立たぬぞ　若「何うぞ御云はないで助けて下さい何のやうにも謝罪を立てますから……あゝ皆様の中に私をお救ひ下さる人はないか、何人か這入て下さる方はないかと、悲鳴を擧げて泣悲んで居ります、夫れを才助が見て惻隱の心勃然として禁ずる能はず、眼前に此有樣を見ながら見ず知らずの他人とは云へ又如何なる事情があるにもせよ、彼の若者を見殺しにする事は出來ぬと、背負ふたる葛籠を卸して大手を擴げて立塞り　才「やあ〳〵御一同如何なる仔細の儀か、私に免じて一通り事の次第を聞かせて下されと云へど大勢は肯かばこそ　大勢「誰れが口を開いても勘辨は出來ぬわ、邪魔だ〳〵、よつしよい〳〵。側杖喰つて後悔するなよつしよい〳〵。」と無理にも此若者を瀧壺に投込まうと致す。其中に香具師の仲間の者が之を聞付けまして二十人ばかり其場に驅付けて途を遮り　香「村の若衆さん〳〵此處に居るのは仙臺の香藥賣才助と云ふ者です、折角仲人に這入らうと云ふのだから何卒此の男に花を持たして下さい、私も共に言葉を添へて賴みます　大勢「俺等は何處の馬の骨だ、邪魔をすると共々瀧壺へ投込むぞ　仲間「ゑー手前共は五臟圓の身内の者で厶います、と態々に呼ばりました、何しろ甲府で五臟圓藥太夫と云へば人の知つた香具師の親分又帷付の交際もして居りますから中々の功利、村の若者共も五臟圓の身内と足を踏止め　大勢「あーれ前方は源太夫の身内衆かへ、夫れなや一通りの事情を遞べざあなるめね、勇吉をッア此處へ下ろせ」と、容に應じて胴腰にして居た若者を卸し　大「一通り譯を云ひますから譯が分つたら手を引いて下せえよと其中の若者頭と覺しき、肥滿つた男がつか〳〵と進み出で　若「私は除々瀧藏八と云ふ者だが、此男は若王子の織屋の主人長左工門と云ふ者の悴で勇吉と云ふ小悴でがす、私等も實はこんな事を爲たくはねへでがすが、まあ話だから一通り聞て下せへ、是ははあ村方なや年々御輿を此處へ持て來て、瀧壺で洗ふのが、例祭でがして、今年はゑらく御輿を損じましてがす、そこで御輿屋に擔いで修覆をして貰れど云た所が、早速はお承知して呉れて、出來上りましたござせへます所が大分毀れて居たものでげすからはあ、新規に拵へたよりかもつと餘計掛りましたですけれども、此明神様には御存じもあるめへが、神主様もなければ、別當様もごせへせん、力ではあ此村方で持て居る明神様でごせへますから、其神輿の修覆料の出處がねへでだす、それだから村方一統の頭割にしなければならねへので、頭割と云へば是れはあ大分難儀の者もあるだ、に依てまあ村方の小體しい高持の者に願つて餘分に出して貰ふが宜からうと云ふので、私がまあ分道で名主様に相談した所がそりやる如何にも尤もだからはあ五十石以下の者に賴むが宜い、さうして五十石の高持は二分、百石の者は一兩づゝの割で貰ふが宜からうさ、で村方の高持へ出金方を賴んだでがす、すると皆の者が如何にも尤もだと云ふので快く出して呉れましたでがす、夫れだのに若王子の機屋の長左工門殿は、内に織子の五十人も置き、田地から山林迄ゑらく持て居て、此邊の大金持でがすから、少なくも二兩や三兩ははあ出して呉れるだらうと、樂んで帳面を持て行くと、尤も當から酷客いと云ふ、評判の旦那でがすが、乃公は出すことは出來ねへ、貴様達が玩弄にして御輿を毀して置て修覆をしたから金を出せと云たつて、金と云ふものが爾う出せるか出せねへか、考へて見ろと斯う挨拶でがす、まあ爾う云はねへで信心は德の餘りだ、此通り外でもはあ寄進に附て呉れた事だから、まあ帳面を見て下せへいや、見るに及ばねへ、爾う云はねへで信心の事だから、多少に寄らず幾十でも宜いから出して下せへと云つたら、そんなら出して遣らうと鐚錢で百出し、これ寄進に付くから、前に寄進付に掛けろと、斯う云ふ譯でがす、私等もはあ返つて了つたから、鐚錢の首ばかり貰ひに來たのぢやねへ、大の男が十八十五人鼻面を揃へて、名主様の奥印付の帳面を以て來て百ばかり持て何の面下げて歸れるものか、要らねへ要らなければ遣らねへと云ふ賣言葉に買言葉で、到頭百の錢を引込ませちまつたから、此方もはあ貰はねへと返つて來たんで。



東京電報

▲**皇室豫算會議**　明年度皇室豫算會議は二十五日午前十時宮内省にて開會せらる

▲**樞府と日佛條約**　二十三日午前十時宮中に於て臨時樞密院會議を開き日佛通商條約批准の件を可決し其旨奏上し十一時散會す

▲**滿鐵株主總會**　南滿鐵道株式會社にては二十三日午後二時東京商業會議所に於て株主總會を開き利益配當案を議し政府に配當金三十萬圓一般株主配當金六萬圓（年六分）を可決せり

▲**日清銀行計畫**　大坂の山口、志立、平瀨、神戸の松方、川崎、伊藤等有力の實業家十數名發起し大坂に日清銀行を創立せんとて目下協議中なるが成立の上は對淸爲替を主なる營業の目的とし一面淸國への金融を計らん方針にて遲くも一月初旬發表の運に至る可し

▲**山公と武官長**　中村侍從武官長は畏き邊の御沙汰を奉じ二十三日午前八時三十分新橋發列車にて小田原に山縣元帥を訪問したるが用向の内容を知に由なきも軍事上に關する畏邊の御諮詢なるやに拜承す

▲**波斯政府屈讓**　ダブリツツ來電に依れば波斯政府は悉く露國政府の要求を容認せり

北京特電

▲**媾和閣議**　袁世凱は二十三日其官邸に閣議を開き特に慶親王の參列を請ひしが右は上海在媾和使唐紹怡の報告に因り最後の決定を爲さんがためなり

▲**革軍主張に同意**　袁世凱官邸閣議にては皇帝を存置する條件を附し他は悉く革命軍の主張を容るゝ事に決定し目下袁は政府變更上に就き六ヶ國の公使と交渉中なり

▲**財政愈々窮境に陷いる**　淸政府は内外債共失敗に終りし結果袁總理大臣は自己の財産を擔保として私債を起さんとしたるも之亦不調に歸し今や財政上如何ともなすべからざる窮境に陷りたり

上海特電

▲**廣東の排獨熱**　廣東西本願寺布教所より當地に達せし報道によれば漢陽の戰に於て獨逸軍人の死體發見されたりとの報廣東に傳はるや獨逸商人に對するボイコット激烈にして獨逸商人は目下之が防禦策を講究中なりと

▲**媾和談判前途**　媾和會議は秘密に進行中なりしが[illegible]會合にて決定せらるべく[illegible]

▲**財政難と媾和**　目下各省は共徵税期節なるに係らず[illegible]爲め國庫に回收の見込[illegible]之は日を追ふて迫りつゝ[illegible]られ媾和の問題も或は[illegible]決を告ぐるなりと觀測さる

●**國有地面積**　最近の調査になる朝鮮全道の國有地面積を掲ぐれば左の如し
京畿道一八、一五〇町[illegible]三、九五町八八同南道[illegible]六、全羅北道五、[illegible]五、[illegible]町三三慶尙[illegible]町七七同南道五、三三[illegible]道二四、四五一町九四[illegible]四町一五平安北道一[illegible]七同南道一二、八九九[illegible]道六、九九二町四八同[illegible]町八五

●**神道の朝鮮布教**　日本神道各派にては併合當時十數名の代表者を朝鮮に派遣して各地を視察せしめ大に布教に着手せんとせしが[illegible]なくも大成數と讃門數と[illegible]たるため兎角各派の統一[illegible]結果其儘になり居りしが[illegible]門數の爭ひも圓滿なる解[illegible]を以て愈々目的を遂行す[illegible]目下各派管長間にて協議[illegible]も明春迄には何等か表立[illegible]開始すべしと

●**寺内總督歸着**　[illegible]の途次馬山に立寄れる寺内總督は[illegible]迄出迎の昌德宮德壽宮兩宮の[illegible]務總長、藤田總督府醫院長等を隨へ廿四日午前[illegible]列車に搭乘午後四時南大門[illegible]の出迎を受け直ちに[illegible]に入れり

●**總督官衙巡視**　寺内總督は廿五日午後憲兵司令部警務總監部を巡視したりと

●**總督と長官會議**　寺内總督は二十六日の長官會議に於て不在中の政務を聽取する筈なり

●**元田拓殖總裁の談**　過般當地辯護士高橋章之助氏が東上の際元田拓殖局總裁を訪問して朝鮮に關し元田總裁が高橋氏に語りし要領左の如し

◎拓殖局を拓殖省となし獨立の一省となすことは前内閣より[illegible]予が拓殖局總裁就任早々[illegible]この考へあり且つ軍人なる故一應各[illegible]意を拂ふため自分預りをる次第なり[illegible]題の前途如何は今[illegible]れども政府反角員の[illegible]氏（和歌山縣選出）[illegible]なる反對論者あり[illegible]府に命じて調査を[illegible]意見を確め然る後[illegible]て解決を與へんに[illegible]ざる可からず。[illegible]は種々なる事情あ[illegible]宿題として研究せ[illegible]拓殖總裁として寺[illegible]に出席し新附民教[illegible]の如き之れが發布[illegible]ものありと其理由[illegible]らしめず直ちに原[illegible]至りしものなり[illegible]しては多少の疑問な[illegible]振興方針には異議な[illegible]如きは日鮮人何れの[illegible]内總督との關係は[illegible]公衙の拓殖局總裁[illegible]局は命令的に諸般[illegible]有し其間多少圓滿を[illegible]現今にては寺内伯[illegible]の政治的經驗により[illegible]し來り拓殖局に向[illegible]能を遂げ萬般を運び[illegible]間何等の軋轢を見[illegible]前途は知るべきのみ

●**京城戸口數**　最近調査に係る十月末現在京城市内在住總戸[illegible]十六人口二十九萬一[illegible]て其の内譯は内地人[illegible]七十一、人口男二萬[illegible]一萬一千三百三十八[illegible]人、朝鮮人戸數五萬[illegible]口男十二萬五千九百[illegible]十四百八十八計二十[illegible]六、支那人戸數五百[illegible]百八十八女二百五十[illegible]九、諸外國人戸數八[illegible]女九十八計二百十五

●**鮮銀兌換券**　[illegible]半島に於ける通貨[illegible]は今や内地有力な[illegible]る所となり既に大坂[illegible]或は之に就て論せしが[illegible]は東京にて發行する[illegible]日本に掲げしもの也[illegible]督に於て一面には朝[illegible]費財源に充當せんが[illegible]額二千萬圓を三千萬[illegible]して昨年十二月末に[illegible]は尚僅に千八百萬圓[illegible]に約一年を經過せる

●**内地人小學校と補助金**　最近朝鮮全道に於て其の筋の補助を仰ぎ又補ぎつゝある内地人小學校は京畿道[illegible]一忠北道五忠南道四全北道二全南道五慶北道四慶南道三黄海道三江原道三平南道二平北道二咸南道一咸北道一合計三十八にして一時補助金は五千四百圓經常補助金は七萬一千五百廿圓なりと

●**屠場税問題に就て**　……檜垣道長官の談……　從來警務總監部に於て經營したる屠牛場を民團に於て經營すること、なり既に民會の決議を經たりとの事は耳にしたれど[illegible]に關し日鮮屠牛業者より到底民團經營の曉には其の營業を繼續し難き旨の嘆願書も達しては居るが民團からの申請書は二三日前迄は確に府廳にも達し[illegible]況んや當廳に於ては未だ其の申請に接しないので其の内容の如何を知るを得ず併し風聞の如く民團が從來警務部經營時代には屠牛一頭に就き一圓宛を徵收したる所謂手數料以外尚重ねて屠場税を課するとしても其は日本人に限り朝鮮人には決して課税する如き極めて重大なることで民團からの許可申請書の内容に依り大に熟考すべき必要があると思ふ

●**仁川商議の總會**　仁川商業會議所にては既報の如く二十四日午後六時役員會開催四十四年度收支決算報告其他二三の協議をなし同八時閉會したり因に二十六日の總會は延期となり廿七日午後六時より民團樓上に於て開催すべしと

●**葉煙草騰貴**　朝鮮に生産する葉煙草は其價格に於て一般に約三割の騰貴を見たるが右は今年水害のため幾分不作なりし結果にもよらんも鮮人が從來の如く全部喫用の習慣より漸次捲煙草使用に變化し其嗜好上進の著しきより各地とも紙煙草製造事業勃興に基くものと察せられ今後尚煙草製造事業續出すべければ從て朝鮮葉煙草は價格の上進を見るに至るべしと云ふ

取引所設立贊否意見（七）

▲**釘本藤次郎氏**　曰く取引所の設立は時機の問題だらう世人の多くは尙早を唱ふるやうであるが自分は寧ろソレと反對で時機は既に業に熟して居ると思ふ由來取引所設立問題は一昨年山口太兵衛和田常一兩氏等の發起で東京の大江卓氏外五六の有力者に諮つたところ東京側は非常の贊成で昨年春其の筋に出願すると間もなく更に一方安達藏佐々木正之深水淸三氏等の發起で其の筋に出願したが何れも是れも不許可となつたところで這回の出願は第三回目で最初の發起は自分等の關係して居る有價證券組合員であるが昨今の發起人は七十餘名の多數に上つて居るツラ〳〵惟ふに朝鮮現下の狀態は昔日の朝鮮にあらずで凡ての方面に於て急足の進歩を爲し又現に進歩しつゝあるのである斯かる狀態の今日に於て全道の首府たる京城に一つの取引所なきは實際不可思議とするところで之れあるとなきとは事實其の土地に於ける商業の盛衰に至大の關係を及ぼすものたることは言ふ迄もないされば一朝京城に取引所設立されんか啻に商業狀態に於て一變化を來すのみでなく從て附隨して諸種の事業勃興し一面に於て朝鮮開發の實を擧ぐることゝなるは勿論である又世人は朝鮮人を持つて居るものは僅かだといふが日鮮人を合すれば決して僅かではない内地へ行つて株券の取引をするものはないから取引所が設立さるれば必ず總ての株券は集まつて來る又米穀にしても京城は集散地ではなく消費地であるかららといふものもあるが取引所にして立さるれば忽ちにして集散地となるは言ふ迄もない而已ならず近時商業の大勢上淸酒絹布の如きは京城をして集散地たらしむべき傾向を示して來たでは[illegible]

ないか又取引所にして設立さるれば米穀の値段を一定し内地への移出も思ふやうに行くことになるだらうと思ふ要するに取引所なるものは表面弊害の方が先きに立ち易いから不贊成者が多いがソレ等は枝葉の問題で敢て根本の問題ではない繰り返す京城に取引所設立されんか必ず京城の商業狀態に一大變化を來すであらう

▲**岩佐東拓理事**　曰く米穀にせよ株式にせよ取引所を設立するの必要ある程の品物ありとすれば京城に取引所を立て、差支なきのみならず却つて其の設立の必要なるを認めるので取引所の如き機關の設立を猥りに不許可に終らしむるは却つて經濟上に惡影響を來すものであらうと思ふ併し米穀は兎に角株式の如き到底取引所を必要とする程の現物が在せず又た米穀の如きも京城は單に市内の消費額丈けを集散する地で他地方に於ける重要額の集散地たり得るや否やは疑問で此點に於ては仁川の方却つて一般的集散地たるに適するか如し且つ京城取引所が設立されたとして其の米穀の公定相場なるものが果して鮮人米穀商の公定相場たり得るの權威を有するに至るか否かは現在京城西大門外及び麻浦附近に大規模の鮮人米穀商があつて其の勢力の一二精米會社の外は之れに匹敵するものなきに見ても極めて覺束ない之れを要するに其の品物にして充分ならば取引所設立は寧ろ贊成だが未だ米穀株券等の在高が其の域に達し居らず或は取引所設立の結果其の取引は大半差額の取引に終り賭博物たるの觀を呈せざるやと思ふ

●**總督邸晩餐會**　二十四日歸任したる寺内總督には同夜官邸に出迎の倉富石塚小宮池田明石宇佐美俵小松菊池の各部局長官警務總長並に山縣武官、兒玉秘書官及中山大佐、藤波通譯官を招き晩餐會を催したり

●**外人の鑛業經營者**　外人が朝鮮に於て鑛業を經營するもの比年增加せるが現在の經營者は四十五人あり國別にすれば亞米利加を主とし英吉利獨逸露國伊太利之れに亞げるが經營個所は平安北道最も多く平安南道之れに亞ぎ他は忠淸北道黄海道江原道慶尙北道等なりといふ

●**銅店鑛山試堀**　平安北道厚昌郡南面銅店に於ける伊太利鑛山會社は去る四十二年十月より四十三年三月迄試堀を爲し其の後中止の姿なりしが本年十一月より鮮人坑夫十七名を使役し再試堀に着手せりと

●**東拓の貸牛成績**　東拓にては昨年來籾種の改良と共に小作人に對し耕牛の貸付を爲し居れるが目下の處に[illegible]

●**民團小學校指定**　新築中なる龍山小學校鐘路小學校は今回文部省より在外指定學校の待遇を受けることゝなり二十二日付を以て指令ありたりと云ふ

ては貸付頭數三百頭以上にして之れが出産牛數五十頭なりと云ふ

●**池田通信局長官の歸任**　東上中なりし池田通信局長官は二十三日午後八時十分南大門驛着歸任したり

●**小原地方局長の歸任**　南鮮地方視察のため出張中なりし小原地方局長は廿五日歸任すべし

●**川上平北道長官の陞任**　川上平安北道長官は今回高等官二等に陞任されたり

●**水谷鑛業所長の歸任**　平壤鑛業所長水谷千萬吉氏は二十三日内地より歸任したり

●**上林專賣局長の開城行**　上林專賣局長は廿五日開城に赴きたるが同地にては參政課の御用納めをなし歸京すべしと云ふ

●**山口書記長釜山行**　京城商業會議所山口書記長は私用を帶び二十四日釜山に赴き翌日歸京せり

●**豐田商輔氏の出發**　大阪毎日新聞の豐田商輔氏は廿五日夕刻南山町の寓居を引拂ひて浦尾旅館に入り廿七日午前九時南大門出發の筈なり

●**高田憲兵大尉の出發**　新幕憲兵分隊長に命ぜられたる高田大尉は二十六日午前九時赴任す

●**ワリヤツク戰死者改葬**　去る二十七八年役戰死露國軍艦ワリヤツク號乘組士官及水兵十三名は仁川各國居留地墓地へ埋葬しつゝありたるが今般本國へ改葬と決し在京露國副領事下仁三十六日遺骨を鐵道輸送の筈にて總督府よりも護衛兵を派し鄭重に取扱ふ由なり

●**露國總領事下仁**　露國總領事は別記ワリヤーグ號戰死者改葬の爲二十五日午前十時南大門發仁川に向へり

●**官公衙其他の用仕舞**　總督府其の他の諸官衙及び民團東拓會社等は例年の如く二十八日を以て用仕舞ひとなす由

●**日韓瓦斯會社の忘宴**　日韓瓦斯會社にては二十六日盛なる忘年勇傚露宴を花月に催すべく二十三日付を以て官民有力者にそれ〳〵招待狀を發せり

●**松寺檢事正の招宴**　松寺檢事正は二十七日午後六時より關係諸官署の高等官一同を京城ホテルに招宴す

●**朝鮮銀行券發行高週報**　十二月十七日より二十三日に至る鮮銀券發行高左の如し

總發行平均高	二五、五二一、〇五一
内 正貨準備平均高	九、一五八、四一八
保證準備平均高	一六、三六二、六三三

▲公人私人

▲水谷千萬吉（海軍大佐）廿三日補尾
▲川田敬三（日本銀行檢査役）廿四日
▲天興樓
▲上原辰三郎（釜山憲兵隊長）同山本
▲ヴイカース（鑛業）同釜山へ
▲佐藤安之助（滿鐵公所長）同
▲池田力吉（朝鮮銀行大邱支店長）同大邱へ

▲京城手形交換高
十二月廿五日　一九二、三四七、八〇

▲治外法權▼

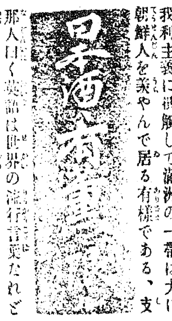
今度犬養毅が渡淸したのは、革命黨側の依頼に由てのもので、若節十年の彼れの今度は、月杜笙を裁くの評判であるローとは專らの孫逸仙に犬養にしても、其の若節保持は、決して政[illegible]爲ではない、期するさ以上乃ち或るソレ以上のあるだ▲されば犬養が革命黨[illegible]なるだローの、孫が大統[illegible]一などとは該兩人の心事[illegible]臆測に過ぎぬ▲犬養と云[illegible]分にして、當地に居るも[illegible]る、曰く司法部の某、曰[illegible]而して日本電通々局長牧[illegible]亦た其一人である▲牧山[illegible]れ過日上京犬養親分を訪[illegible]から二尺物關兼則の一刀[illegible]親分の折紙に曰く、本刀[illegible]の頃肥後に流行りし肥後[illegible]用の業物、切味御試めし[illegible]

▲目下歸朝中の駐英大使[illegible]淸國の動亂に依り、貿易[illegible]響を受くるは英國で次は[illegible]憲君主制乃至共和政治[illegible]は問ふところに非ず、平[illegible]一日も早く鎭定するにあ[illegible]く、何分日本には外務省[illegible]一人の大臣次官に止まら[illegible]種々の注文を爲すものあ[illegible]受けらるゝは珍現象だ[illegible]子若しくは低利の資金を[illegible]製産の改良獎勵に就いて[illegible]出すとかの噂がある、[illegible]布業者に改良を促がし[illegible]と對抗せしめんには資[illegible]らう▲併し聞くところに[illegible]は、今後低利若しくは無[illegible]作られた苧布をば、某[illegible]買占めさせ、亦た一手[illegible]い計畫だツウだが、コレは[illegible]本銀行へ借入金を申込[illegible]本から眼玉を喰つて歸[illegible]の噺にもあり亦た笑止[illegible]の本欄に京城市中總督[illegible]地で遊んで居る分を民[illegible]書いてあつたのは、民[illegible]間違であるから一寸訂正[illegible]

●支那人氣質

……某清國通談……

凡そ人は生れながらにして博愛の情があるされば相逢ふ度毎にも先づ自ら案ずる所を以て人に問ふの道理朝鮮人が安在事居を有し西洋人が日課を尋ね日本人が天氣を語りも那人が吃飯の有すを伺ふの有様試に支那人は日本人の立場より推せば全く女氣質である從つて疑ひ深く恩に馴れ易ひ特長がある、だからして過渡の文明に接觸するときはどんでもない野心を起すまいとも限られぬ、古來何れの國にても事を誤まるは君側の奸官にて忠良は山中さ海濱に住するの慣ひ、一般人民は常に平和を爲し安樂を好むは必然であるに拘はらず時に劣者の強迫に恐れて無事料を拂ひ其れが畢して動機となり好事家の乘ずるに任せねばならぬ、運命を醸すは千編一律なり故に道樂より來れる謀反人よりも我立たずんば蒼生を如何にせんとて起るもの、弱ひのは當然である殊に支那は歴史上動亂多き國柄とて爭はれぬ事實である、目下の支那人は此の已を得ずして起つ救世主の心願中である、常に絶体の救世主を探して居る様な國柄丈け其れ丈け我利我利主義である、故、昔より支那に於て道を説ひた孔夫子の聖人一度憤つて天下治まるを筆頭に文王の周易も屈原の離騷も韓非の説難孤憤も正しく其れではあるまいか兎にも角にも現下の支那人は官軍にあれ革軍にあれ草賊にあれ目の當りの迫害を恐れて無事料（一に保護料を）を支出して居るのは南満も滿洲も御同様である一再ならぬ無事料は最早我利我利主義に抵觸して滿洲の一帯は大に朝鮮人を羨やんで居る有様である、支那人曰く共和は世界の流行言葉なれど僅かに二億の人に通ずるばかりです、支那語は以て優に五億の耳に通います、嗚呼此一言は實に國の强大を誇る愛國心に似て非なる事大迎性である何國の政治の下に立つも構はないが其の代りに半殺しにされても半分の賃金を欲しがる様な慾張り主義である此慾張主義の支那人が時に合同の出合にて生業を營む場合に日本人以上の團結力あるのは全く兄弟より親子親子より夫婦の中の善ひと同様に最も汚ひ所を見せ合ふて居るのと數學上の觀念に長じて居る結果であるのではあるまいか。





●田中守平の傲語

▽眼中總督府なく ▽又た總監部なし

東亞靈理學會々長と稱する田中守平なるものが明治町一丁目佛國教會堂前の靈理學會京城支部とか出張所とかなるもの、看板下に出沒して醫師同樣肉體的疾患者の治療に從事しつゝある不思議な態度は二十四日附本紙上に記載したる如くで、且つ其信仰者即彼が治療を受けつゝある患者の氏名(病名は無論秘密に屬すべきを知るを以て訊かず)を一新聞紙上に發表すると、せざるとは先方の意志注文に委し一後日の心得の爲め承知し置きたきを以て二十三日午後一記者をして彼に請求せしめたるも又既報の如くである。

二十三日午後三時

二十分過、其命を承けたる記者は其事務所に所謂會主田中守平を訪ふた、取次に出た二十八九の玄關番君に名刺を渡すと夫に一瞥を與れた玄關番君は『只今は患者が込み合つて居りますから晩(夜)に來て下さい』と大層な景氣だ『タッタ十分間で濟む要事だから兎に角一應取次で試て下さい』と云ふと不精無性に奥へ入つて行つたが暫時にして出て來た『此方へ』と案内する患者控室…醫者の玄關らしき所を見ると、

十七八の少女三四人

に丸髷姿の婦人、洋服姿の日本人ゞ鮮人も二三人居る、此も皆御信心の連中だらう、奥座敷に通ると

薄化粧をした如な田中の顔

は光耀いて叮嚀に撫で下した長髪は鍍金色に照り映ゑて居る、服裝はと見ると教導職か裁判官か辯護士の着る如な裝束を着けて居る、一寸見の難有さを拜して一通の挨拶を濟すと記者は直ちに質問に移つた、何にせよ面會時間十分間と云ふのだもの 記『如何なる種類の患者多きや』 田『世中にある程の患者は悉くある、併し普通の醫師が見放したる患者を全治せしむるのですから 記『警務總監部の許可を受けられての施術ですか、

田『普通の醫師や教論師や祈禱師などには夫れ／＼取締規則がありますが此靈子的作用者に對しては別に取締規則がないのですから總監部の干渉は受ける必要が無いです 記『併し一の營業としたならば總監部どころか警察署の手を經て民團に屆出營業税を納むる義務があるでしよう、 田『私は營業して居りません患者の嘆願に因り止なく治療に從事して居ります 記『然らば渡鮮の動機も患者の請求懇願に依りますか希くば其患者即信者のお名前を承知したい』 田『……… 記『私が本日訪問した要件は患者名簿を見せて貰ひたいのです 田『折角の事ですが秘密に屬するからお見せ申されませぬ 記『病名は無論秘密でしようが患者即ち靈理學會會員の名迄秘密とは如何なる理由か 田『何にせよ上流社會の人もあり下流社會の人もありますから差支へます 記『無論宗教信者は上中下流を通じて居るが夫が迷惑になるとは思はれぬ、氏名迄も秘密にしては却て社會の誤解を招きますよ』と云ふや彼田中守平は昂然として 田『何と仰云つても不可、例令總督政治の下でも總監部にも私を取締る權利は無いのだから、我等を取締る法律は無いのですからね』と更らに昂然として『併し患者の承諾を得て差支へなき氏名丈け書拔いて送りませう』と云ふ 記『患者とは君の方の云ひ分で私の方では靈理教會の信者と見て居る其の信者の名が歷として發表されぬか無理にとは云はぬ見る必要無し』と立ち上つた時彼は矢庭に記者の袖を押へて『只今京城慈惠院の或る人の紹介にて鮮人の重病人を治療しつゝあれば其狀態を見て呉れ』と云ふ、記者は其必要なき旨を答へて辭したが彼は飽迄も取締なきを利用して不遠慮の言句を弄して居る、總督政治でも總監部でも吾人の城壁を侵す事は出來ぬと云つて居る。果して左樣であるか、果して左樣か、果して左樣か、然り果して左樣である。彼れは彼自身の云ふが如く取締法なきに乘じて其怪腕を揮ひつゝあり、靈か零か、彼の言に依れば靈子とは宇宙に充滿せる元素だと、言新しい心算であらうが實は在來たる說だ、眞面目に研究する、なぜと云ふ人があれば夫は既に一種の暗示を受けたものだ、併し彼は云ふが如き魔法を使ふのだとならば山の中で使ふべきだ市の眞中で魔法など使はれては法律も兵隊も不要と斷言する。

●清國領事の斷髪

▽仁川領事館員一同も

京城駐在清國領事馬氏が數日前斷髪をなしたる由に傳へ聞きたる在仁川賀領事も二十四日斷髪をなすと同時に領事館員一同斷髪をなしたりと

●北米倉町に人殺

▽被害者は高利貸

京城市中に於ける殺人事件の犯人新らしきは彼の銅峴分署管内竹園町付高利貸小栗象吉の妻いとを斬殺したる犯人より漢陽公園の留守番人を殺害せんとしたる犯人畜きは山本升事殺し犯人是等總て重罪犯人は一人として檢擧せらるゝに至らず社會は警察の活動力に對し多少の慽なきにしもあらざる今日又々京城相生町に殺人事件ありたる顚末を記せんに二十五日午前八時頃南大門內相生町京城基督教會橫路に年齡三十前後の內地人男子行倒れ死亡し居る旨屆出に接したる南部警察署に於ては警官警察醫と共に檢視せしに死者の鼻より出血し且後頭部及び胸部に打撲傷ありて他殺の嫌疑あるより早速京城地方裁判所檢事局及警務總監部に急報せしより裁判所よりは兩角檢事高木豫審判事現場に檢證し總監部よりは司法主任安藤警視は鈴木警部及刑事數名を率ひ南部署よりは今村署長濱野警部外刑事五名を從へ現場に出張檢證の結果、死者は北米倉町二番戶鬼木彥四郎(三〇)にして雜貨商兼高利貸なる事判明せしより各刑事は被害者自宅に出張し帳簿其他を取調べ被害者が某關係人と喧嘩を爲したる形跡あるを探知し某々二名の嫌疑者を逮捕し午後二時半頃迄前記係官一同は南部署長室に於て密議中なりしが事件は直ちに豫審に付せられたれば詳細は後日報道す可し

社告

鳥兎匆々師走月と相成本紙新年號準備の期も愈相近づき申候就て本紙が此際愛讀者各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと確信候

十二月 京城新報社

●惡漢の在留禁止

▽警務總監部の快擧

警務總監部に於て京城龍山に散在せる浮浪人若しくは土木業者中の金筋檢擧を各警察署と共同活動し南部警察署に於て金筋の重なる田中竹松外二名が在留禁止の執行命令を受けし事は既報の如くなるが二十四日下の四名に又々在留禁止の命令執行せられ而して秋山中村の兩名は木浦に秋場は釜山に何れも旅行中抑留せられしが中尾は龍山憲兵分隊に於て執行せられしが尙ほ續々彼等無賴漢に對しては在留禁止を命ず可く調査中なりと

旭町一丁目野村吉三郎方 香川縣平民 土木請負業 秋山格太郎
太平町居住鳥取縣平民 浦稱彌尾事 同業 中村龜吉
龍山居住東京府平民三谷新八事 同業 秋場新太郎
龍山居住鹿兒島縣平民 同業 中尾年太郎

●淫婦みちの自白

▽裁判長に叱り飛ばさる

既報中根澤藏の傷害事件は二十五日午後一時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係り境檢事立會の下に公判開廷せられ被告辯護人として岩本英夫氏出廷被告は身柄の拘束なきより何等監視を受くる事なくして出廷し被害者金村みちの民事私訴代理人として高橋章之助氏出廷せり當日被害者みちを參考人として召喚ありしよりみちの訊問に移りぬみちは一見高等內侍風にして淫婦らしき態度にて法廷に立つ訊問事項は既報せし彼れが淫婦の本性を發揮して傷害事件の發生したる顚末にして情夫吉谷雄一との醜關係を遂一自白し最後に裁判長より斯る愚を仇なる人非人の行爲を惡しきと思ぬかと問れ平氣な顏して居るので裁判長は夫のみならず裁判に持ち出し騷ぐとは何者かと叱られ居たり

●俠女『藤岡はる』

▽他人に藥餌を與ふ

原籍廣島縣沼隈生れ當時仁川松坂町一丁目三番地津田金二郎方同居吹抜忠次郎(三四)は惡性の脚氣病に罹り進退谷りたる折から金二郎は京城方面に出稼中とて同家の女中岡山縣生れ藤岡はる(二二)は親身も及ばぬ介抱をなし自分の懷中より醫藥等を求め與へ居りしに忠次郎は涙を流して喜び居たる甲斐もなく益々重体となり仁川病院分院に收容

●裸男の檢事局送

▽寒い事でムんせう

開城生れ催成賢(三一)は龍山大島町豆腐屋西吉序三郎方に雇はれ居たるに數日前一寸用達に行くとて主人より金一圓五十錢及主人のインバチス帽子靴等を借り其儘逃走し仁川龍洞許白植方に至り賭博をなし打負けたる末は裸にされ居たる擧動の怪しきより仁川署の小池刑事が不審を抱き直ちに本署に引致し取調べたる處前記の事實自白に及びたれば二十五日檢事局送り

●睡つた儘に往生

石川縣人野多郞(三三)と云ふは本月七日より龍山青坡町三十七の六旅宿業李鐘秀方に宿泊して日々勞働に從事し居れる者なるが二十三日夜は平素の如く飲食して寢に就き二十四日午前六時三十分に至り何時もの如く起き出でざれば宿の者が不審に思ひ部屋を覗きたるに死亡し居るより大に驚き最寄の派出所に訴へ出でたれば即刻警官警察醫と同行檢視したるに喘息の爲め死亡したるものにて原籍氏名も判明せず引取人も無きより死体を民團に引渡したり

●演藝だより

新春の京城劇園界を賑はすべく各座主が彼れか是れかと首を捻つた結果▲壽座は坂東調之助の所謂舊派劇一座▲歌舞伎座は改政義團と名稱つたる新派劇▲浪花館には大阪落語界の人氣者三遊亭圓若の一行にて何れも元旦より景氣好く蓋を開ける筈

平民文庫

▲愈々總督も歸られた吉野京日社長の御盡力で一つ江戶ッ兒會へ御出席の榮を得る事にしたいものだ▲江戶ッ兒會では會員中に禍福がある度に互に助け合ふ事の申合せをすると云ふからツマり親類や友人が殖ゐる譯だ、融通の利く方に取れば厄介な事だが貧乏人の江戶ッ兒は五圓ハッンで此株を取つて置く必要があらう▲此は眞に善い思い付だ從來の縣人會とか云ふものは只集つて酒を飲む斗りが能であつたのを流石江戶ッ兒の思遣りよく此所に思ひ付いた、流石は流石は(小僧)▲二十四日の晝過ぎ西小門通りの切手賣捌所へ護謨輪で切手を一枚買に寄つた奏任官殿がある西小門外官舍に住居の○○さんだ▲然るに其家の主人が間違ひて三枚差出したヌルト先生大に怒つて三錢出せは一枚と定つて居るぢやないかと大威張で手も附けられぬ主人が低頭平身して濟む事は濟むだ▲スルト今度はポケットから一通の手紙を取出して主人に貼付の函を命じ此を見届けて傲然として去つた▲其手紙の宛名は仁川淺岡樓御主人樣▲皓度借金の言譯だらう(風聞子)▲裁判所の村田と總督府の磯戶は元井門支店の文枝と云ふ女が今他人の妾として○○町の○○屋の二階に圍はれて居る處へ毎日競爭して通ふて居る殊に村田は大ブン貯金を下して注ぎ込んで居るそうだ(向のヨボ)

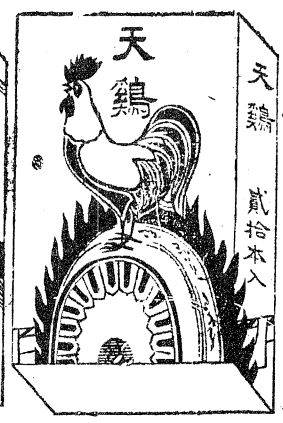
改良紙巻煙草



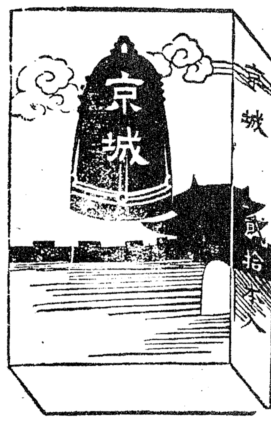
貳十本入定價五錢



貳十本入定價四錢



貳十本入定價貳錢五厘



貳十本入定價貳錢

東光社の賣出し

【十二月二十八日より】

我社の告白

△從來の煙草製造業者は原料に供すべき葉煙草に清潔法を施さす復た消毒法を行はさるか故に其葉煙草には往々泥沙塵埃の混入を免れさるのみならず甚たしきは耕作季肥料として施したる汚穢物か點々葉の表裏に附着し無數の黴菌其間に發生することあり假令煙草は單に其煙を味ふにありとなすも固是吾人の口唇に接觸し咽喉に吸入するもの如何に外容美を粉飾したりとて此不完全の製造法を聞かは孰れか衛生的危險を感ぜさるものあらん

△近時煙草界の競爭は殆んと其極度に達し徒らに價格の低廉を是事とし絶て製品の良否を顧みず益々粗製濫造の弊を助長し喫煙者も亦た所謂其臭汚に慣れ之を異とするの色なし是豈に最も恐怖すへき現象にあらずや

△我社の提供する改良紙巻煙草は内地煙草界に於て曾て偉大なる發明をなし名聲嘖々たる萩野技師長が獨得の技術を應用し各國の名葉を撰み悉く殺菌法を行ひ凡ゆる不潔物を除去し加之極秘の手段に依りニコチン毒を豫防せるを以て其原料や清淨無垢其製品や純良温雅衛生上何等の危險を認めず却て喫煙者をして心身快爽自ら進取の氣象を鼓舞作興せしむ

△我經營者か此劇甚なる競爭場裏に一新旗幟を樹立し玆に工場を擴大し嶄新の機械を購入し熟練の職工を補充し敢て大飛躍を試みんと欲する所以のものは要之唯た自己を利せんか爲めにあらず烟草製造の改良に努力し又た烟草栽培の改良を促し天惠に富める帝國の新領土たる朝鮮半島をして將來卓越なる烟草生產地たらしめ以て國家の大富源を開發し尚且つ幾多可憐の子弟婦女に適當の職業を與へ聖世の下善良の生活を得せしめんとするの微衷に外ならす

△以上の趣旨に基き我社は勉めて廉價販賣をなし此衛生的經濟的の改良紙巻烟草を普及するを中心の希望となし欣快となせり我社必しも自賛せす謹んで大方僉位の御實驗と御眷顧を乞ふと云爾

尚は二十本入袋二十箇を壹箱となし其表裝は各品とも意匠美を施し高尚佳麗歳末年始の御贈答用として絶好なり

京城西大門外獨立館跡

紙巻煙草製造所

東光社

電話一七〇六番